



健康維持・増進の取り組みの説明を受ける  
教育民生常任委員

の減額が予測されている。  
加えて、財政調整基金の積立金もほとんどなく、本年度予算も臨時財政特例債の限度額までの借り入れにより、どうにか収支を保ちながら財政の運営をしており、厳しい台所事情である。  
町税の収納状況について、税務課の職員に四人の非常勤職員を合わせた体制で収納確保に努めており、十七年度は十二月を「税等滞納整理強化月間」と定め、町民の納税意識の啓発を図り、その期間中は町の幹部職員十九人が班編成による十日

間の夜間徴収を実施し、徴収と誓約書の取りまとめを行ったとのことである。  
もともと気象条件などに恵まれない地域で、原子力発電所関連事業による好景気も去った現在の野辺地町に限らず、どの町村も減額

一方の地方交付税など、財政を支える柱が崩れかけており国や県などの情報の的確な把握と適時の財政計画の見直しが健全な財政運営にとって、何よりも大切であることを再認識した研修であった。

## 教育民生

# 町民の医療と健康について調査

教育民生常任委員会では「町民の医療と健康」「環境、廃棄物処理、リサイクル」をテーマに調査しました。

野辺地町は「元気で喜びあえる心と体づくり」をキーワードとし、健康づくりに取り組んでいます。今年度新たに前立腺がん検診を実施し、高齢者の方々に介護予防策として特定高齢者把握問診を追加しました。また、食の大切さと楽しみを知ってもらうために「学童親子クッキング」、生活習慣病の予防と克服のために「水中運動リフレクシユ教室」を実施しています。水中での運動は、個々の体力にあったトレーニングができるという好評を得ているということです。

廃棄物処理については、北部上北広域事業組合で運営する「クリーン・ペア・はまなす」で行っています。平成十七年度の家庭系ごみの収集運搬量は約四千五百トで、今年度は五割の減量を目指しています。平成十六年度にごみ袋の値上げを行ったところ、ごみ量が減少したということです。

健康の維持・増進を図るためには、自らの認識と自主的な実践が基本であると考えますが、町も平均寿命の延びや疾病構造の変化などにより増大する町民ニーズにこたえるため、健康教室や各種検診などの保健サービスを総合的、機能的に推進していかなければならないと感じました。

## 青森県六ヶ所村

# 日本原燃「原子燃料サイクル施設」を視察

議会では10月24日、常任委員会の視察研修に合わせて、青森県六ヶ所村の日本原燃「原子燃料サイクル施設」を視察しました。

議会では三陸の海を放射能から守るための意見書を提出するなど、放射能廃液から住民の食の安全と健康を守る取り組みを行っており、今回の視察は、その一環として行われたものです。

担当者から施設や処理の状況などの説明を受けた後、実際に施設の見学を行いました。

視察終了後の質疑では、「山田町で住民説明会を開催してほしい」など住民の不安を解消するための要望などが述べられました。これに対し日本原燃側では「施設を見ていただくことが一番の理解につながる。要請があればいつでも迎えに上がりたい」との答弁がありました。



日本原燃で説明を受ける本町議会議員